

開講期	2026年度前期、2026年度後期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	4029 人間科学論演習1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	クラス指定必修			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜5限				
教室	G211教室				
代表教員	上野 俊哉				
担当教員	上野 俊哉				
テーマと到達目標	世界で通用する「すこやかな非国民」になるための場。日本の文化、自然、風景、美学、味覚などを愛しつつ、日本の外の社会で、しっかり、きちんと批判＝批評的に生きる身ぶりで楽しめるノマド（遊牧民）、コスモポリタン（世界市民）、エグザイル（祖国放棄者）として生きる実力を身につける。「鬼のように遊び、修羅のように学ぶ」。				
概要	このゼミでは、目の前にいる人間よりも、一冊の本、一本の映画、一つの楽曲＝音源、一つの出来事・・・の方がずっと大切になる。目の前の人間がどうでもいいわけではないのだが、これらの文化的テキストが人を救うこともある。ゼミ参加者のそれぞれの興味、関心を聞いた上で、共通のテキストを選び、これを輪読し、討論する。候補となる本は、一応、参考文献のところに載せておく。実用書や自己啓発本は本ではないので、ダメ、絶対。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	自己紹介をする				対面授業
第2回	自分のやりたいテーマについて話し合う				対面授業
第3回	一人一人が読むべき著者や本を決めていく、指定する				対面授業
第4回	共通して読める本を探す				対面授業
第5回	共通して読める本を選ぶ				対面授業
第6回	決まった本を一緒に読んでいく1				対面授業
第7回	決まった本を一緒に読んでいく2				対面授業
第8回	決まった本を一緒に読んでいく3				対面授業
第9回	決まった本を一緒に読んでいく4				対面授業
第10回	決まった本を一緒に読んでいく5				対面授業
第11回	個々に読んでいる本にたちもどる				対面授業
第12回	個々に読んでいる本と、みんなで読んでいる本の接点を探す				対面授業
第13回	書評をする				対面授業
第14回	発表をする				対面授業
第15回	夏にやるべきことを話し合う				対面授業
第16回	夏に何を讀んだか？				対面授業
第17回	旅をして、移動するときに読む本たちについて				対面授業
第18回	後期に何を讀むか？				対面授業
第19回	後期のテキストを読む1				対面授業
第20回	後期のテキストを読む2				対面授業
第21回	後期のテキストを読む3				対面授業
第22回	自分で書いたものを発表する1				対面授業
第23回	自分で書いたものを発表する2				対面授業
第24回	「ふつう」を拒絶して生きるとはどういうことか？				対面授業
第25回	お節介な管理をこえる生き方はどこにあるか？				対面授業

第26回	どうして発達障害は増えたのか？		対面授業
第27回	非国民でいるのは楽しい		対面授業
第28回	日本人がこれほどバカになったのはなぜか？		対面授業
第29回	和光大学は歴史的役割を終えたのか？		対面授業
第30回	世界の終わり、資本主義の終わり、大学の終わりをこえて生きる方向は？		対面授業
成績評価の基準	講義中にふれた著作、論文などを読み、それらの概念や方法を使って、自分で問いを立てて書くこと。2800字以上。ゼミ中の発言、質問、共同作業への参加のぐあいで評価する。		
履修にあたっての留意事項	<p>並行して「現代思想の地平」(共通教養、木3前期)、「精神分析の地平」(木3後期)「群島論」(W専門、木4前期)、「動物論」(W専門木4後期)、「暴力論」(W専門水2前期)、「反発達論」(共通教養、金3後期)・・・などのうちから、興味しだいで受講するとい。延長もあるので五限以降にバイトなど入れないこと。</p> <p>大学での学びにコスバやタイパを求める人には向いていません。</p> <p>無断欠席は厳禁、休むときは事前に連絡すること。</p> <p>学生をお客さまや消費者と思つたことはないし、これからもあります。</p> <p>単に学び逸れる大人の一人としてあつかいます。</p> <p>今は活字や本が嫌いでも、これから本を読むことがすきになりたい人に向いています。</p> <p>授業公開の制度には一歳エントリーしない。理由は大学の講義にニセ学生がいるのは当たり前のことだから。</p> <p>和光の教職員は授業公開の制度、仕組みに関わりなく、いつでもわたしの講義を聞いてもらってかまわない。ただし、参加する場合、一声かけて</p> <p>いただく。関係性(ラポール)はあらかじめ、そちらからアプローチして築いていただく。</p>		
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細			
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件			

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	ルソー、『社会契約論』(岩波文庫)、アルフォンソ・リングス、『信頼』(ちくま学芸文庫)、フェリックス・ガタリ、『三つのエコロジー』、真木悠介、『気流の鳴る音』(ちくま学芸文庫)、『うつくしい道をしずかに歩く』(河出書房新社)、ミシェル・ド・セルトー、『日常実践のポイエティック』(ちくま学芸文庫)、ハンナ・アレント、『人間の条件』(ちくま学芸文庫)、カント、『永遠平和のために』(岩波文庫)	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください</p> <p>https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</p> <p>合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---